

## は じ め に

平成20年3月に新学習指導要領が公示され、小学校では平成23年、中学校では平成24年の全面実施に向けて移行措置が始まり、一部では先行実施が行われています。県でも理想の学校教育具現化に向けて、学校支援業務の集中化を図るため、組織の再編を行いました。このように学校教育は社会の変化とともに大きく変わろうとしています。

教育を取り巻く状況が変化しても当センターでは、具体的な指導方法や手だてを研究・開発し、学校や地域に還元することを目指していることに変わりはありません。

こうした中、当センター長期研修員は、教員としての資質の向上と見識の涵養に努め、併せて学校及び地域の教育を推進する実践力を養うことを目的に、1年間研修を積んでまいりました。そして今年度から、従来の個人研究に加えて、共同研究を行ったり、外部講師からの指導を受けたりすることが可能となりました。さらに、指導主事が行う学校等への訪問指導の同行も可能となり、より研究を深め、実践力を高めることができるようになりました。

各研修員は、所属校が抱える課題や教育活動実践上の課題を基に、研究テーマを設定しまとめました。この研修報告書から、長期研修員の教育改革への意気込みと学校及び地域の教育を推進するための実践力の向上を読み取っていただけるものと思います。また、本書を読み進める中でのキーワードとなっている「ミドルリーダーのコミュニケーション」、「目標の共有化」、「授業研究時における会話の質の向上」、「言葉への親しみ」、「思考力・判断力の育成」、「幼小の連携」及び「健康問題の早期発見・早期対応」等は、これからの教育を進める上でも大切な視点となると思います。

これらの研修報告を学校における諸課題の解決や教育実践の参考として御活用いただけたら幸いです。また、内容についての率直な御意見をいただきたいと存じます。

最後になりましたが、長期研修員の研修に際して、御支援・御協力をいただきました学校及び関係教育機関の方々に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

平成22年3月

静岡県総合教育センター  
参事 海野 実